



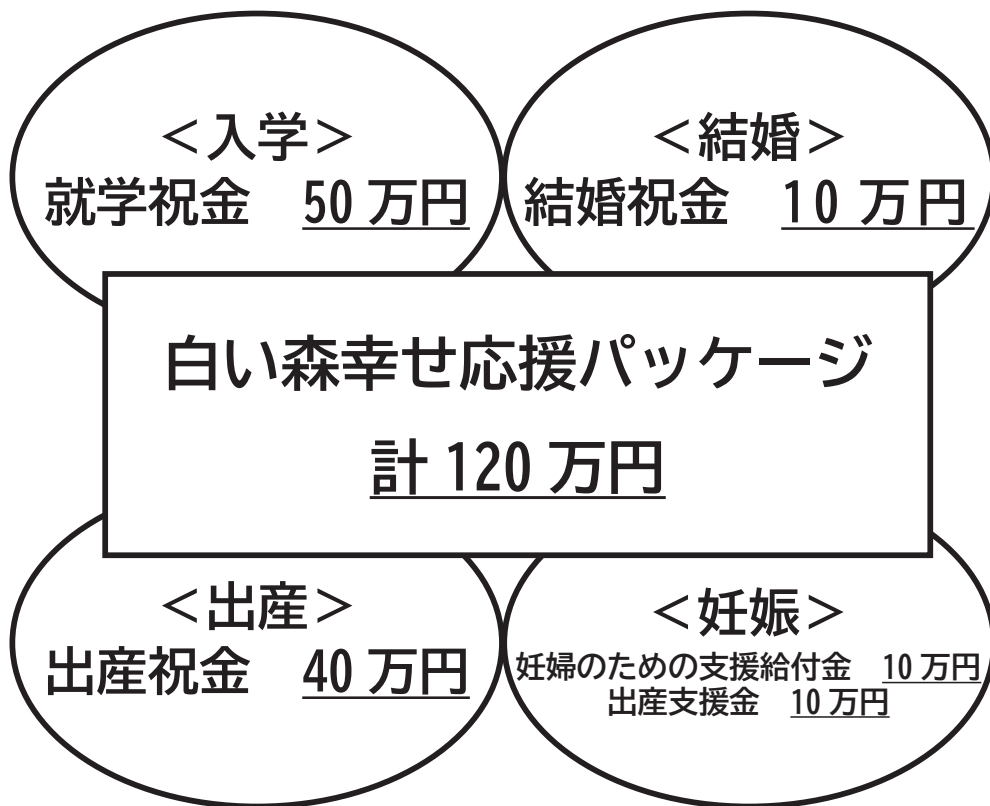
# “白い森おぐに”で幸せを実感 ～新たな子育て支援策「白い森幸せ応援パッケージ」がスタート～



少子化が全国的に進行している中、本町においても出生数の減少が続いています。少子化の要因には多くの理由があるとされていますが、子育てに対する経済的負担もその一つとしてあげられています。

そこで、本町では今年度より「白い森幸せ応援パッケージ」を創設し、子育て世帯に対し経済的支援を行うことにより、子育て対策の充実を図ることとしました。今回は本制度の内容を紹介するとともに子育て世代のかたの話をうかがいながら、子育て施策のあり方について考えます。

## 「白い森幸せ応援パッケージ」の概要



### 少子化の現状

令和7年度、本町で生まれた子どもの数は11人で、令和6年度の出生数である27人から半数以上減少し、きわめて低い数字となりました。また、令和7年度の本町の婚姻数は9組となり、昨年度の7組から増加したものの、依然として低い水準で推移しているといえます。全国に目を向けても、日本で2025年に生まれた子どもの数は前年比で2・1%減の7万5809人となり、10年連続で過去最少を更新するなど少子化が全国規模で進行している現状となっています。

こうした全国的な少子化の原因はさまざまですが、近年では、婚姻に関する価値観の変化による非婚化の進行などが大きな要因として挙げられています。一方で、

子育てにおける経済的負担も少子化の要因の一つとされています。国立研究開発法人国立成育医療研究センターが2024年に実施した調査では、0歳から18歳（出生～高校3年生）の子育てにかかる費用の合計は570万となり、子育てにあたっては、経済的負担が大きいのということが示されています。このデータからは、経済的な支援をはじめ、子育てしやすい環境の整備が求められているといえます。

「白い森幸せ応援パッケージ」の創設

本町では、進行する少子化に歯止めをかけ、結婚、妊娠、出産、子育てにかかる支援を総合的に展開する施策の一つとして、結婚・子育て世帯への経済的支援に主眼を置いた「白い

特集 “白い森おぐに” で幸せを実感 ～新たな子育て支援策「白い森幸せ応援パッケージ」がスタート～

森幸せ応援パッケージ」を今年度新たに創設しました。具体的な制度の内容としては、まず、結婚されたかたに対し、結婚祝金として10万円を交付します。また、これまで5万円（うち3万円は白い森商品券）としていた出産支援金を現金10万円に拡充します。妊婦向けの取り組みとして、このほか、国の制度を活用した妊婦のための支援給付金10万円、さらには、新たに出産祝金40万円を交付します。これに加えて、経済的な負担が増加する小学校入学に合わせ、就学祝金50万円を交付し、結婚から出産にかけて合計最大120万円を支給することとしています。4月7日に行われた町内の2つの小学校の入学式では、就学祝金の贈呈式を開催し、新入生代表とその保護者に対して、目録の贈呈が行われました。こうした取組みを通じて、町として子育て世帯やこれから子育てを行うかたを支援していきます。

今年第2子を出産予定の色摩大希さん・美紀さんは「妊娠・出産といった経済的な負担が大きくなる時期に合わせて、現金という形で支給されることは助かります。また、成長の段階に合わせて支給される点も、明確に使い道を決めて使うことができるのでメリットだと感じています。このようなパッケージがあることによつて、これから夫婦が2人目、3人目の子どもを考



▲小国小学校入学式で就学祝金が手渡される

ライフステージに合わせた支援

「白い森幸せ応援パッケージ」は、結婚や子育てのライフステージに合わせた支援を行う形で創設したもので、タイムリーな支援を行うことで、その効果を高められるよう制度設計に努めました。



▲色摩大希さん・美紀さんと長男の陽太さん

今年第2子を出産予定の色摩大希さん・美紀さんは「妊娠・出産といった経済的な負担が大きくなる時期に合わせて、現金という形で支給されることは助かります。また、成長の段階に合わせて支給される点も、明確に使い道を決めて使うことができるのでメリットだと感じています。このようなパッケージがあることによつて、これから夫婦が2人目、3人目の子どもを考

全体としても子育てに対する考え方が変わってくるのではないかと思います。」とお話いただきました。

今年度、新1年生として小国小学校に入学した斎藤翠さんの父母の隼さん・晴美さん夫妻は「物価が高続き、日常生活を送るうえでも大きな経済的負担がかかる現状に加え、習い事や、学校用品などを揃える必要がある段階で、子どものための就学祝金をいただけているのは大変ありがたく感じています。子育て世代にとつては大きな金額で負担の軽減にもつながると思います。この制度を子育て世代のかたに知っていただき、小国で子育てをしていくと考えると、子どもの同級生も増えて嬉しいですね。」と就学を迎えた子育て世帯の実情と制度の効果についてお話をいただきました。

子どもたちが健やかに成長し、安心して過ごすことのできる子育て環境を整備することは、本町にとっても重要な課題であり、使命であると考えています。町では、前年度から取り組んでいる0歳から5歳児までの保育料の完全無償化のほか、母子健康手帳と子育て支援機能を兼ね備えたスマートフォンアプリ「おぐに

### 子育てしやすい町へ



▲斎藤隼さん・晴美さんと長男の翠さん

こ」を活用した子どもの健康管理や各種予防接種の調整などを継続して利便性の向上に努めます。また、これまで毎月1回の開催であった、健康管理センターの休日開放「あそびの広場」を週2回の開催に拡大し、子どもの遊び場の創出と子育て世代間での交流促進を図ります。このような取組みに加え、今年度より出会いの場の創出と結婚に向けた相談体制等の充実やマッチングサイトを利用する際の登録料等を支援するなど、成婚者数の増加を目指す婚活支援も進めていきます。

引き続き町民のライフステージに沿って、結婚から妊娠・出産、就学に対する支援施策の取組みを通し、子育てしやすい環境として選ばれる町、そして安心して子どもを産み育てられる町をめざし、子どもたちの成長を支えてまいります。

### 町内在住のかたの結婚を支援します！

町内在住で結婚を希望されているかたや町内企業の従業員のかたに対し、出会いの場の創出と成婚までの支援を実施します。

#### ■支援内容

- ①結婚を希望するかたやその家族から相談の受付、結婚につながるアドバイスの実施
- ②結婚を希望されているかた同士の出会いイベントの開催

※イベントの開催については、町ホームページや公式LINEなどでもご案内します。

■問合せ先 総務企画課 協働のまちづくり担当 (☎ 62-2264) へ

### 小国町出会いサポート補助金について

町では、本町に居住し結婚を希望されるかたが結婚相談所等の専門機関や結婚を目的としたマッチングアプリケーションを利用する際の初期費用を補助します。

- 対象 ①結婚を希望する独身の成人のかた（補助は1人につき1回となります）
- ②本町に住所を有し、かつ居住していること
- ③町税等を滞納していないこと

■補助額 結婚相談所等の初期費用全額又は2万円のいずれか低い額

■その他 マッチングアプリは、結婚相手紹介サービス業認証機構が認証するIMS認証を取得しているものに限りです。

■問合せ先 総務企画課協働のまちづくり担当 (☎ 62-2264) へ